



はくば 議だより 75号

平成17年第4回定例会.....1

今議会の報告審議事項

各常任委員会審議報告.....3

総務社会委員会

産業経済委員会

村政を問う 一般質問.....5

「観光の原点」の再確認は
グリーンシーズンの反省と検証
観光局の経営内容と今後の方針は
18年度予算編成の基本方針は
謝罪した件についての処分内容は
小学三年までの医療費無料化は

議会を傍聴して.....12

請願・陳情審査結果.....12

わたしのひとこと.....13

平成17年

第4回定例会

平成18年1月31日

発行／長野県白馬村議会

編集／議会報調査編集特別委員会

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村

☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001

gikai@vill.hakuba.nagano.jp



平成17年 第4回定例会



12月12日から9日間の日程で第4回定例会を開催。
* 一般会計専決報告 1件 * 請願 1件
* 一般会計補正予算等議案 15件 * 陳情 4件
* 発議 2件
尚、陳情2件は継続審査、その他は可決・採択。
13日の一般質問は、6名の議員が村政を問いました。

今議会の審議事項

一般会計補正予算(第5号)の専決処分報告

豪雨により農地農業施設2箇所(八方牧道・青鬼畦畔)に発生した災害復旧のための費用283万7000円の補正及び、統合保育所建設事業の予算組み替え(予算総額変更なし)につき、急施を要したため、10月14日専決処分したものです。

本件については、専決報告事項であり、本議会1日目に質疑・討論・採決しました。

議案第59号 長野県市町村自治振興組合を組織する市町村数の増減について

議案第60号 北アルプス広域連合を組織する市町村数の減少、共同処理する事務の変更及び規約の変更について

議案第61号 白馬山麓環境施設組合を組織する村数の減少及び規約の変更について

議案第62号 白馬山麓環境施設組合から美麻村の脱退に伴う財産処分について

議案第63号 平成17年度白馬村一般会計補正予算(第6号)

議案第64号 平成17年度白馬村国民健康保険事業勘定特

別会計補正予算(第2号)

議案第65号 平成17年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第2号)

議案第66号 平成17年度白馬村水道事業会計補正予算(第2号)

請願第5号 幼稚園就園奨励費補助金事業制定についての請願

陳情第5号 看護職員の大増員を求める陳情書

陳情第6号 患者・国民負担の中止と「保険で安心してかかる医療」を求める陳情書

陳情第7号 個人所得課税に於ける各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書の提出を求める陳情書

陳情第8号 「高校改革プランの実施計画策定を先延ばしし、県民合意の高校改革をすすめることを求める意見

書」提出を求める陳情書

以上、議案第59号から議案第66号まで、及び、請願第5号、陳情第5号から陳情第8号については、後述各委員長報告をご参照下さい。

議員発議

個人所得課税に於ける各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書の衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣への提出

高校改革プランの実施計画策定を先延ばしし、県民合意の高校改革をすすめることを求める意見書の県知事・県教育委員会委員長への提出



恵の雪か、近年まれに見る大雪(12月)



898(白馬)人のサンタとイルミネーションクリスマス(ジャンプ台 12/23)



改修工事も終り本年度より使用できるようになったメディアムヒルジャンプ台



全国学生選手権大会開会式(ウイング21)

各常任委員会審議報告

総務社会委員会

るため、財産の変更及び地方債残額については新大町市から納入されることとするものです。

付託された案件は、議案6

件・請願1件・陳情4件。

・議案第59号

市町村の合併により、長野県自治振興組合から脱退もしくは加入するもので、地方自治法の規程によるものです。

・議案第60号

美麻村・八坂村が大町市と合併することによる削除、また、平日夜間緊急医療センターの設置及び管理・在宅歯科当番医制補助事業・障害者自立支援法に関する審査判定事務を追加するものです。

・議案第61号

美麻村が大町市と合併することにより、組合から脱退するため組織を変更するものです。

・議案第62号

美麻村が大町市と合併することにより、組合から脱退す

・議案第63号

4月の人事異動に伴い各課人件費が増減が生じたもの、他、住民課関係で乳幼児医療給付費120万円の増、合併処理浄化槽整備事業補助金220万円の増、消防関係で250万円余の減、これは団員の報酬と退職報奨金の減額をするものです。

・議案第64号

歳入歳出それぞれ4388万3000円を追加し、総額をそれぞれ9億2832万5000円とするものです。主には療養給付費等交付金、県支出金の歳入を受け、退職被保険者療養給付費、療養費、高額医療費に支出するものであり、医療費の伸びに対応するものです。

・請願第5号

幼稚園就園奨励費補助金事業制定についての請願について、白馬幼稚園が開設されて3年をむかえます。幼保検討委員会では5年目を目途に検討としていることや、新しく保育所が建設される事をふまえた上で、保護者の負担軽減の為のこの補助金事業について検討するものです。

・陳情第5号

看護職員的大幅増員を求め、陳情については、看護職員の仕事の実態は理解でき、医療介護労働者の配置基準数等、検討のためのデータ・資料がないことから、継続審査としました。

・陳情第6号

「保険で安心してかかれる医療」は国民共通の願いですが、国民健康保険の運営上、陳情項目等更に検討する必要があるとし、継続審査としました。



・陳情第7号

国は各種控除の縮小・廃止に言及する前に、まず着実な景気回復により税収の自然増をはかるとともに、歳出の削減をはじめ、国民が納得できる歳出構造改革を行うことが先決であります。

・陳情第8号

18年3月に結論を出すことなく、地域ではじまった議論を大切にし、時間をかけ十分議論し、県民合意の高校教育改革をすすめることが大切であります。

以上、議案第59・60・61・62・63・64号、請願第5号、陳情第7・8号は慎重審議の結果、委員全員の賛成により、可決及び採択すべきものと決定しました。

産業経済委員会

付託された案件は、議案3件。

・議案第63号

スポーツ事業課関係では、スポーツ総務事業費の職員手当等について132万60

00円、施設管理費の需用費として、ミディラムヒル増工分および維持管理事業にかかるとの経費29万9000円を補正するものです。

産業課関係では、農業委員会費の登記書図面作成委託料の農林省委託用地買収にかかるとの補正について、瑞穂地区に存在する堰が抹消されていた



ものを登記したものです。また、農地費では木流川護岸整備にかかる関連地主27名分の登記について、一部地主の境界不明箇所測量委託をしたもの、また、深空グラウンドの公衆トイレ修繕と汲み取り手数料などの補正ですが、早期降雪により未着手分の林業改良事業費を組み替えるなどして一部を補正したものです。

また、観光国際課関係では、観光施設整備費として新田地区観音原および親海湿原の公衆トイレの修繕費、大雪溪上部秋道の補修にかかる材料費を補正すると、長野自動車道から白馬村にいたる道路での不要看板や歓迎塔用地の借り上げ料を減額補正するものです。

建設課関係では、土木費において県道千国北城線塩島地区の道路橋梁事業にかかる県単道路改良事業地元負担金を補正すると、落倉地区の舗装復旧工事費555万円を減額補正するものです。また、除雪にかかるオペレーターの雇用について賃金と除雪委託料を組み替えたものが主たる

・議案第65号
下水道事業特別会計補正予算(第2号)につきましては、歳入においては下水道使用料104万8000円を補正し、歳出においては国補公共事業費188万4000円を追加し、単独公共下水道事業費298万7000円を減額補正するものです。

・議案第66号
水道事業会計補正予算(第2号)につきましては、収益的支出において、営業費用として工事請負費および材料費で200万円を、総係費の給与・手当で461万円を補正するものであります。

また、資本的収支関係では、建設改良費として74万3000円を補正し、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する1億7849万8000円は、当年度分損益勘定留保資金などで補填するものであります。

以上、議案第63・65・66号は、慎重審議の結果、委員全員の賛成により可決すべきものと決定しました。

一般質問 (紙面の都合上、要旨のみ掲載しました)

木 政を問う
あかるくあわせな
村づくりをめざして



目指せ未来のオリンピック選手 (名木山)



怪我をしないようにしっかり準備体操

観光問題

Q 「観光の原点」の再確認は

A 温かく迎える体制確立を進めていく



柏原 孝至 議員

Q 白馬村の基幹産業は観光です。

村民も行政も「観光の原点」をもう一度考え、意識改革をして、お客様にも村民にも快適な村をつくるべきと考え、次の点を伺います。

観光の原点は「接客」です。「白馬村はたった1人のお客様でも村民全員で大歓迎いたします。それが村民の誇りです。」このような体制を取り、さらに観光地の質の向上に努め、観光局を中心にお客様に快適な村、白馬を作れば自然にお客様も増えると思うがいかがか。

A 訪れる方を温かくお迎える、という体制は、観光地として基本的でかつ重要な要素です。現在、



五竜とおみエスカルプラザ内案内所、親切的な対応

観光局に白馬村CS 向上推進室を設置し、発生したクレームは、施設に向いて、担当者と面談するなか改善を求め、クレームの発生しない施設づくりに努めています。村内においても、独自に事業展開している地区もありますが、例では、八方地区の「ありがとうをカタチに」という事業であります。

お客様とのふれあいを大切にしたことで、千人大鍋や餅つきの振る舞いを行うお客様感謝デーや温泉のイベント等を企画され、加えてサーブス向上講習会等で接客マナーやサービス業者としての意識向上にも努めています。言われる観光の原点とは、まさにその通りだと共感します。

今後「白馬」を訪れた方を温かく迎える体制の確立に向け、観光局と協調しながら、進めていきたいと考えます。

関連質問

Q 白馬山麓スキー場のリフト、ケーブル券の共通化は。

A 索道事業者協議会へも共通券になるよう要請しています。

Q スキー客の底辺の拡大、修学旅行、学校行事の強力な誘致は。

A 東京都、愛知県、大阪府等の中学校、高校を対象に進めています。

Q 各スキー場の祭りを白馬の雪祭りとしての一歩は。

A 意見の集約を図りながら、模索していきま

す。

Q 47スキー場くみそら野間平川仮設橋設置

は。

A 神城山麓線の開設に力を注ぎ延長線上で常設橋を考えていきます。

Q スノーハーブのホタル育成支援と観光利用

A 内山21会と協議しながら進めていく。

観光問題

Q グリーンシーズンの反省と検証

A 概ね前年並みの15万人の集客



池田 和良 議員

Q 天候に左右される夏の観光、本年も雨の影響を受けており、観光客は減少しています。そこで観光活性化のために次の点を伺います。

① 新たな観光の拠点づくりや、雨天の時の観光について、白馬・小谷地区の自然や文化、歴史などを体験出来るようなテーマ館や、様々な体験学習プランを用意する。

自分のペースで巡りながら、四季折々に変化する自然の植生、雪解け水に、じかに触れながら遊べる場所の提供をしたらいかがか。

② ウィンターシーズンに向けては、シニアやファミリーのお客さんに対する対応や、滞在期間を延ばすように村内スキー場の共通リフト券の導入が急務であると思うが。

A ① グリーンシーズンの一大イベントとしての「白馬ALPS花三昧」も3年目を迎え、地域の皆さんのご協力により無事終了しました。

愛知万博の影響を受けた観光地が多い中、JRの協力をいただき前年並の15万人の索道利用実績がありました。

特筆すべきは、岩岳地区で「岩岳ゆり園」の開設が挙げられます。白馬の夏の観光拠点として、今後大きな期待を寄せております。

雨天対策のテーマ館というような新たな拠点を作るとなると財政的に難しいの

で、インドア体験を提供する施設、美術館、ギャラリーなどを紹介することで、対応したい。

また、自然とのふれあいといった面では、松川河川公園、サンサンパーク、大出公園、青鬼集落などを紹介します。

② 「白馬HAPPYセブン2日券」があり、更なるリフト券の共通化については、白馬村索道業者としても検討をしています。

その他の質問

Q 間伐財の活用は、森林の整備、ひいては自然環境の保護につながる。管理出来ない人への手助けは。

A 下刈り、除伐、間伐には、国や県の補助制度が設けられているが、村も10%の補助金の上乗せを行っています。

Q 粗大ゴミを冬期間も月1回位開設できないか。

A 集積場内の除雪をしても、大型車両が多く作業スペースが取れない事と、事故防止の為に休止しています。

Q 持ち込まれたゴミのリサイクル化は、どうなっているか。

A 容器包装リサイクル協会指定の事業者により、適正に行っています。



前方名木山ゲレンデ前

観光問題

Q 観光局の経営内容と今後の方針は

A 観光振興の中心的な役割を果たす



太谷 正治 議員

Q

今後の観光行政について、次の点をうかがいます。

- ① 観光局への年間投資資金。
- ② 観光局の今後の経営方針と、今後の村とのかわり。
- ③ 観光国際課の統廃合について。
- ④ 観光局に入会しない施設の対応。
- ⑤ 宣伝方法の主流。
- ⑥ 旅行免許取得による取り組み。
- ⑦ 今後の方向。

A

① 投資資金は2000万円支出しており、旅行業に関する供託金1000万円、出資金900万円



ジャンプ台南側 観光局

円です。尚、主資金は村が2分の1負担することとなり立替金450万円は本年度中に返却されます。

運営資金、イベント資金については6755万円、内訳としては、観光局負担金5955万円、オリンピック記念館管理業務費50万円、白馬アルプス花三昧500万円、クリスマスイベント250万円であり、村の観光局に占める割合は55.3%であり、人件費については、それぞれの派遣元で負担していたでています。

② 白馬村の観光振興を図るため、短期・中長期の計画を立てて「観光振興の中心的な役割を果たす」事業推進を図っております。

③ 観光開発・観光計画・商業及び工業、そして国際交流に誘客宣伝といった事務事業を行っており、ポリシーも考慮しながら統合が出来るかどうかを只今検討中であります。観光という名前は、いずれかの業務の中に残していくことで考えています。

④ 現在観光局会員717会

員であり、今後も入会推進を行う。村の資金利用については、不公平はないと考えます。

⑤ インターネットを活用されるケースが多くなっております。他にパンフレット等色々な媒体を使用して情報発信をしています。

⑥ 第2種旅行業務免許を取得。宿泊料金と組み合わせ商品を各施設単位で作成し、販売することも可能となっております。ツアー商品については、各旅行会社へも卸しを行い、今後も誘客に努めていきますが、会員の皆様の活用もお願いしたいと思います。

⑦ 村・会員・利益それぞれ3分の1となる様運営をもつていけば、会員の意欲を反映された観光局となります。官民協力して白馬村にお客様が多く訪れていただく様努めていきたい。イベント等の効果及び検証は、検証しにくいのが実状であり、マイスター制度のような自前のイベントを組み立て白馬ならではの商品を作成販売していきたいと考えています。

財政問題

Q 18年度予算編成の基本方針は

A 本年度に引き続き超緊縮型で

年度の予算編成にどのように臨むか、伺います。

A 来年度の予算編成方針については、税収の

落ち込み、交付税の見直し等、国の改革の影響を受け、かつでない財源不足に陥っているのが現状であります。これまでに以上に政策、制度等歳出の徹底した見直し、合理化を行うなど一般歳出の伸びを厳しく抑制する方針であります。新年度予算は、統合保育所建設という大型事業の予定があるものの、本年度に引き続き超緊縮方と想定して作業に取り掛かっているとところであります。また、平成18年度事業における投資的予算については、新たな事業はなかなか出ない状況でありますので、基本的には、具体的かつ実施が確実な計画に限定し、その中で優先順位の高いものから

予算編成をおこなってまいります。「自立」をしていく当村としては、地域の活性化と住民福祉の更なる向上実現の為の施策を推進する為、今後更なる財源の効率的運用と、地方債の節度ある活用を留意して、健全な財政運営の堅持は使命であると考えております。

個性豊かで活力と潤いのある村づくりの為、全職員一丸となって英知と創意工夫をしながら予算編成をしてまいります。

その他の質問

Q カメモシの被害と今後の対策について。

A 本年度の白馬村の水稲は、収量は昨年並みであったがカメモシの被害が大量に発生した。原因については、出稲の時期とカメモシの発生の時期のタイミングが



あったこと、防除適期に雨天が続いた事が原因である。今後の対策として、集落単位の防除の検討をしたい。又、カメモシの発生を抑える為に畦畔の草刈の徹底と生産者の理解と協力が必要である。

Q 職員研修について。

A 行政もサービス業の原点に立ちかえり、あいさつ運動を徹底します。

Q



下川 正剛 議員

国が進めている三位一体の改革による地方交付税の削減、観光不況による村税収の落ち込み、税金の滞納等、財政は大変厳しい状況であり、このような厳しい財政状況をのりきる為には、徹底した行財政改革が必要ではないかと考えます。過去の前例にとらわれず、庁内の機構を再検討し、事業の見直しや経費の削減等英知を結集して、行財政改革に取り組む必要があります。村長は三期目の最終年度を迎え、観光再生等、課題が山積するなかで、村民の期待にこたえる為、新

危機管理

Q 謝罪した件についての処分内容は

A 処分というようないいことではない



渡辺 俊夫 議員

Q

9月定例議会一般質問の答弁で、去る8月11日の死傷者を出した大雪渓上部崩落事故時、常勤特別職である助役と連絡が取れなかったことに関して、助役本人はミスを確認して謝罪しました。

地方自治法第162条及び163条に、村長は助役の選任及び任期中においても行うことができる解雇の権限を有するとあります。

そこで、村長として、この問題に関してどのようにその責任を果たしたのか、次のことについて伺います。

A

①及び②、今回の災害の場合には、村の避難対策本部の対応について

も、山岳地帯でもあり小規模体制として、関係課が中心で対応しており、問題はなく、たまたま助役が休暇を取っていた中で、直ぐに連絡が取れなかったことに対しては、反省しており、特別職や、職員についても、災害時の際には休暇であっても、連絡が取れる体制について、心がけるように、今回の災害を契機として認識を新たにしよう徹底しました。しかし、休暇を取って出掛けている場合もありますので、物理的に可能な範囲の対応となるのは致し方ないと考えます。

① 問題点の検証、その方法と結果

② 課題点の抽出とその対策

③ この件に関する処分内容



③ 従って、処分というようないいことではないと考えています。

その他の質問

A

村の長として、白馬高校はどのようにあるべきと考えるか、次のことについて伺います。

① 学科制の導入と具体的な学科名の提示

② 学校、教師のあり方

③ 地域との連携

Q

① 今後懇話会でのご意見をいただきます。教委へ要望してまいります。

② 学校に対してのご意見や要望をいただいています。

③ 広報の活用やきめ細かな学校説明会の実施など生徒会やPTAをはじめとして地域の方々からも積極的に参加いただきながらご意見やご提言をいただけたらと思います。

福祉問題

Q 小学三年までの医療費無料化は

A 県にも働きかけながら実現に努力



小林 英雄 議員

校行事の様子などを見てきましたが、『子供は村の宝』であることを実感しています。これが実現すれば、子育て世代への大きな支援になるだけでなく、村民に明るい希望を抱かせます。来年度予算に反映

すべく、粘り強く取り組むべきと思いますが。

A

子育て支援や少子化対策として、大きな柱だと思っているので、来年度予算を見ながら検討したい。

その他の質問

Q 9月議会でも取り上げた村民バス(仮称)は、福祉タクシーとは性格が違う。新年度予算化への決意を伺いたい。

A 交通弱者のために「福祉タクシー券制度」で対応していて、今後もこれを続けます。

住民すべてを対象とする村民バスを運行する緊急性は低いと思っている。スキー場バスの活用は、まだ具体化の段階ではない。

三路線なら3000万円。財政状況の厳しい中、今すぐの実現は考えていないが、具体化に向けて、住民の意見を反映する場は必要だと思う。

Q 図書館は、その自治体の「文化のバロメーター」であるといわれている。「生涯学習」や「情報センター」としての図書館の重要性は、村長も他の場で述べています。

A 図書館に「指定管理者制度」を導入する考えはありませんが、また「世界の白馬村」としては、お粗末な図書購入費120万円を増額すべきと思いますが。

A (村長・教育長)「指定管理者制度」は、今後その長短を吟味し検討します。図書費増額の重要性は十分に認識しているが、財政的に図書費の増額は難しい。

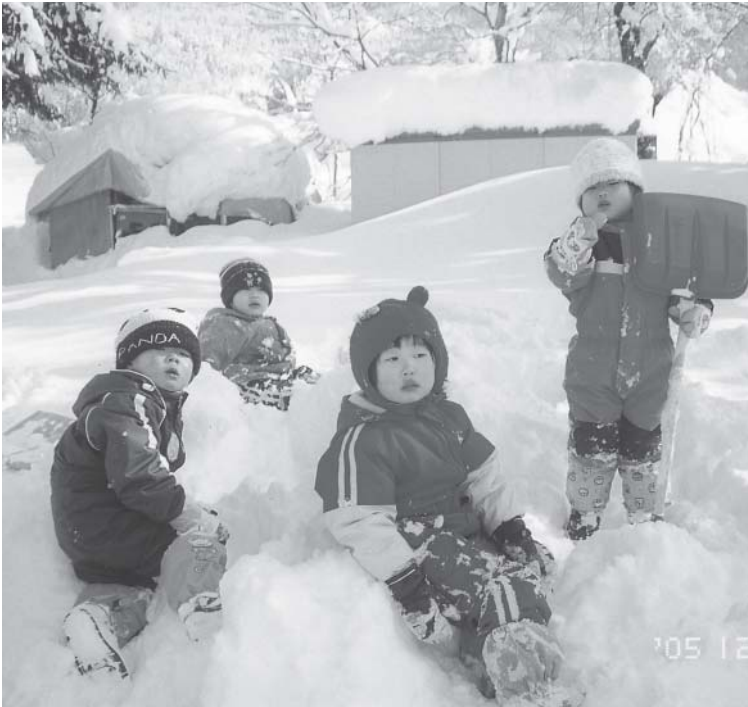
Q 図書館の中身を充実させたい。白馬の民話を収めた本の復刻や、来館者数・利用率を高めることです。本に親しむ9月から11月の利用実態は。

A (長) 教育次長(図書館) 貸し出し数や登録者数は前年比増えています。民話復刻については、検討したい。

Q

小泉突風が吹いた衆院選の結果、国民に大きな負担を求める施策が次々と打ち出されています。また村長からは、「合併が不調に終わった」「自立元年」「協働」といった言葉がひんぱんに聞かれました。私は、いかに財政が厳しくとも「住民福祉は自治体の責務」という姿勢で以下のことを伺います。

9月議会で、医療費無料化を、小学校三年生まで引き上げることを提案しました。議員になって以来、村内の小学校から高校に顔を出し、出来る限り子供たちと接し、学



雪遊びの園児たち

議会を傍聴して



沢 渡
伊 藤 誠

僕が小学生の頃、国道沿の生家で冬になるとスキーバスのチェーン音を子守唄に、多くのお客様が白馬に来村頂けることを子供心に誇りに思いつつながら眠りについていたものです。大きな変革と意識改革が求められる昨今、政治は非常に興味深く関心ある一人です。時代のキーワードは、安心、安全、食育教育、健康、環境、リサイクル、少子高齢化、二極化、女男共同参画社会、福祉、介護、自己責任、景気回復、問題意識、倫理観の欠如、全宇宙的観点、先見性、継続

性、独自性、対話、議論、臨機応変、そして白馬にはイメージアップ、公共心、口コミ、おもてなしの心、誘客の工夫、観光立村、協働共生、目標設定、行動、実行。といった所でしょうか。あなたなら何？ 一般質問は12月13日、質問議員6名のみでしたが、非常にタイムリーで問題意識を与えて頂ける濃密な一日でした。ありがとうございます。土日議会も開催すれば、学生さんをはじめ多くの皆様に傍聴いただけると思います。発想と改良と実践を！

請願・陳情はこのようになりました

請願文書

平成17年第4回白馬村議会定例会 提出

受理番号	受理年月日	提出者	住所	紹介議員	要旨	所管委員会	審査結果
平成17年 5	17. 11. 22	白馬幼稚園PTA会長 太田 知香	白馬村	高橋賢一	幼稚園就園奨励費補助金事業制定についての請願	総務社会委員会	採択

陳情文書

平成17年第4回白馬村議会定例会 提出

受理番号	受理年月日	提出者	住所	要旨	所管委員会	審査結果
平成17年 5	17. 11. 14	野県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 一信	長野市 高田	看護職員の大幅増員を求める陳情書	総務社会委員会	継続審査
平成17年 6	17. 11. 14	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 一信 長野県社会保障推進協議会 会長 今井 良夫	長野市 高田	患者・国民負担増の中止と「保険で安心してかかる医療」を求める陳情書	総務社会委員会	継続審査
平成17年 7	17. 11. 21	連合長野大北地域協議会 議長 続麻 善朗	大町市 大町	個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書の採択についての陳情	総務社会委員会	採 択
平成17年 8	17. 11. 30	長野県教職員組合 執行委員長 花岡 邦明 長野県高等学校教職員組合 執行委員長 中島 武	長野市 旭町	「高校改革プランの実施計画策定を先延ばしし、県民合意の高校改革をすすめることを求める意見書」採択を求める陳情書	総務社会委員会	採 択

夢、私たちに。 わたしのひとこと



魅力ある村づくり

飯森 太田 恵子

私が白馬に移り住んで20年がすぎました。白馬の雄大な山々を見てこんな所で子育てができたらいいなと思って来ました。ここでは自然の中で人が人らしくのびのびと生活できると思ったからです。その後交通が整備され、生活は便利なものとなってきました。でも逆に都会の人から見た白馬の魅力は薄くなってきたのではないかと思います。私自身も毎日の生活に追われ白馬の魅力を感じる心が鈍っているかもしれません。

今、白馬マイスターなど白馬を紹介し楽しみを伝える活動が盛んになってきました。そういう催しに参加する事もよいでしょう。白馬は夢の詰まった宝石箱のような場所だと思います。白馬に暮らしている私たちが白馬のよさを再認識し大切にしてこそ魅力ある村づくりができるのではないのでしょうか。私達が本当に白馬を愛してこそ、更にとくさんの人に愛される白馬になると思います。



私のスローライフ

山麓 伊藤嘉住子

今、巷では、スローライフ、スローフードという言葉がよく言われています。私も、その流行にのってという訳では無いのですが、ここ5・6年、野菜作りから、しょう油、みそ作り、又りんごや柿の酢作り等にはまっています。このような事はみな村のお年寄りの方たちが聞かれば、何を今更とおっしゃることばかりですが、都会で生まれ育った者には、本当に新鮮な驚きでした。5年ほど前、知人から教わり、始めたのですが、畑で一度に収穫できる野菜や果物を、いかに腐らせずにうまく使い廻していくかという、先人の方達の豊かな知恵に本当に感心させられます。信州は元来、厳しい自然環境の下、様々な食品を保存する文化が発達している所です。そのような土地に、今住まわせていただき、そういう先人の方達の暮らしの知恵、文化に触れる事が出来るというのは、なんと幸せな事なのでしょう。



今にして思う大切なもの

塩島 塩島 昭次

現役を引退し早三年、いつしか還暦も過ぎ、年月の早さに驚かされます。家に入り畠仕事に孫の子守に一喜一憂しながら、美しい白馬の自然を楽しむことに幸を感じています。さて、私の小学校高学年の頃、ある先生より現在の白馬南小の東のガクモ原に案内され、この湿原は平地でありながら沢山の高山植物の宝庫で大切な所であると教えられました。全体が湿原地帯で「もうせんごけ」淡水の白い海老、等を見ることができました。現在、柵池にある神の田圃と同じ位の植物があったのを覚えています。その頃の私には大切さも良く理解出来ませんでした。その場所も今は水田、ゲートボール場になっています。私は大切なものを失ったように思います。沢山の方々が今白馬の自然を残そうと努力されていることに敬意を表します。元気な村。訪れてみたくなる村にするために何を残すか洗い直すことも必要ではないでしょうか。行政を担当する方々の尚一層の努力あらんことを期待します。

議会を傍聴してみませんか？

村民の選んだ代表が議場でどんな発言をしているか、行政はどんな対策を考えているか、自分の耳と目で確かめ下さい。

編集後記

最近、全国で子供を狙った悲惨な事件が、つづいています。我が国には、約千百万人の小学生がいます。

各地でさまざまな、取り組みがされており、村でも地域で子供を守る態勢づくりが必要です。

通学路の点検、危険箇所についての対応、登下校時のパトロール、保護者に出迎えてもらう、犬の散歩や、庭の掃除、雪かきを下校時にしてもらおう等々、皆で子供を見守る人の輪を広げていく必要があります。

子供は皆の宝です。一人ひとりの命を大切にする社会、犯罪を生まない社会を、学校、PTA、地域の皆さんでつくっていきましょう。
(池田和良記)